



【寄付ご相談窓口】
【企業・団体様ご支援窓口】

北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金

TEL:03-3906-2352

E-mail:kodomo@kitashakyo.or.jp

ご支援のお願い

- 1 資金で応援する**
基金へいただいたご寄付は、翌年度の事業資金として、子どもたち、若者達の活動への助成金等で使用されます。
- 2 経験・体験で応援する**
職業体験等のプログラム提供や、子どもたちのチャレンジする場の提供や協力で応援していただいております。
- 3 広報で応援する**
基金の活動を広めるための広報活動（社内外等で呼びかけるなど）をご協力いただく事で、基金への支援が広がります。

HPは
こちらのQRから
アクセス頂けます



表紙イラスト:東京家政大学造形表現学科 高橋 真結 氏
ロゴデザイン:東京家政大学造形表現学科卒 田中 優衣 氏

お問合せ:社会福祉法人北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金

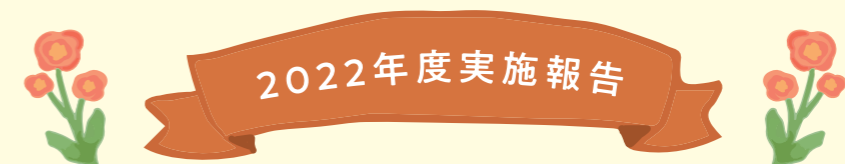
TEL:03-3906-2352 E-mail:kodomo@kitashakyo.or.jp



応援してください!

子ども・若者の育ちをささえる「経験・体験」そして輝く未来を!

子ども・若者 応援基金



社会福祉法人北区社会福祉協議会



ごあいさつ

社会福祉法人北区社会福祉協議会

会長
水越 乙彦



日頃より北区社会福祉協議会の福祉事業に多大なるご協力を賜り感謝申し上げます。当会では令和3年度に子ども・若者の育ちを支える“経験・体験”を地域で応援するため、「子ども・若者応援基金」を立ち上げ、皆さまからのたくさんのご支援をいただきました。今回令和4年度に基金を原資に行った事業についてご報告させていただきます。事業実施にあたり参加した子どもたちが目を輝かせて取り組んでいたことがとても印象的でした。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

子ども・若者応援基金運営委員会

委員長
小田川 華子



若い頃の出会いや経験が、人生観の基底をなすことがあると思います。北区社会福祉協議会が進めるこの子ども・若者応援基金は、子どもたちが地域の大人と交流する機会をもちながら、それぞれの興味や関心にそった経験・体験・チャレンジをすることを応援しようというものです。個人チャレンジと地域の大人による事業型のチャレンジの展開が楽しみです。みなさま、ご協力をよろしくお願いたします。

▶表紙、基金ロゴデザインは、東京家政大学造形表現学科のご協力により、学生にデザインいただきました。

CONTENTS

- 02 子どもの心理ケアの仕事
日本女子大学の協力により、子どもの心理ケアに関わるお仕事をインタビューしました。
- 03-04 夢絵師プロジェクト
東京家政大学の協力でイラスト制作の体験を行いました。
- 05-06 プログラミングチャレンジ
日本や世界を代表するエンジニアが地域の子どもたちに行ったプログラミング講座です。
- 07-08 決算報告
- 09-10 協賛企業等一覧

個人チャレンジ助成 ～夢絵師プロジェクト～

子どもの心理ケアのお仕事を知る / イラストレーターのお仕事を知る

2022年度の個人チャレンジ助成では、子どもの心のケアに関わるお仕事とイラストレーターのお仕事に興味を持っている6年生の女の子の夢を応援しました。まずは、「子どもの心理ケアのお仕事を知る」についての取り組みを紹介します。

個人チャレンジ助成 ～夢絵師プロジェクト～

子どもの心理ケアのお仕事を知る



大学でのインタビュー内容

1 大学院生

- ・心理の勉強をしたいと思ったきっかけ
- ・現在目指している資格やスキルなど
- ・将来就きたいと思っている仕事
- ・心のケアで大切にしていることなど

2 心理相談室室長

- ・心理ケアの仕事とは
- ・子どもの心理ケアで大切な事
- ・心理ケアの仕事をするのに必要な資格
- ・どのような学校に通えばよいかなど

日本女子大学への訪問

大学訪問の感想

子ども

言葉が出なかつたり病気の方の心を見るために、絵を描いて伝えてもらって、そこからその人の思っている事を考えられるという発想は驚きました。人との関わりが大事だと言う事もわかりました。勉強は大変そうだと思いました。

保護者

長い時間での質問に答えていただき、ありがとうございます。色々な人と関わる事で、自分の経験にもなるということと、自分を客観的に見られるようになったら、自分の強みになると感じました。



つづいては、
「イラストレーターのお仕事を知る」についての取り組みを紹介します。

個人チャレンジ助成 ～夢絵師プロジェクト～

イラストレーターのお仕事を知る

夢絵師とは、アニメなどのキャラクターとアニメの中には登場しないキャラクターの共演を描いたイラストを作成する絵描き師のことです。

大学でのインタビュー内容

1 宮本准教授

- ・立体を描くにあたって大切なこと
- ・立体の想像力の付け方
- ・どういった美術館がためになるか
- ・図工と美術の違いなど

2 村田講師

- ・影の付け方のコツ
- ・絵を描くのがスランプの時の対応
- ・洋服のシワの描き方のポイント
- ・自然なポーズについてなど



4 大学訪問の振り返り

訪問、インタビューの振り返りをしました。いただいたアドバイスをふまえ、購入品・訪問先美術館の検討をしました。

大学訪問の感想

一言で言うと『すごかった』です。質問も、とても分かりやすく説明してくれたり、的確なアドバイスをもらったので、自分の為になりました。絵本も大学生って、すごい作れるんだなあと思いました。絵に活かしていきたいです。

【3周年】

好きな歌手の方の絵を1周年時の衣装と3周年時の衣装を2つ並べて描いてみました。衣装の装飾に苦労しました。



【滄】

透明感を意識して、色合いを背景と馴染むようにまとめました。

5 美術館・作品展などへの訪問

本人の興味に合わせ、美術館・作品展を訪問しました。(訪問先:上野美術館、バンクシー展、三鷹の森ジブリ美術館 など)



6 イラストの練習

美術館などへの訪問と同時進行でイラストの練習を重ねました。教授からのアドバイスや美術館などでの学びをふまえ、上達している様子を感じ取ることが出来ます。

7 東京家政大学 イベントへの参加 (10月アートキャンプ / 2月卒業制作展)

大学生が制作した作品を見せていただきました。見学時には制作のポイントも直接説明してもらいました。

8 1年間の振り返りと発表会の相談

1年間を通じて学んだ2つのプログラムの振り返りをしました。学んだことをふまえ、発表会の内容を相談します。本人が作成したイラストの掲示やアイテムの作成をすることを目指します。

3 大学訪問(インタビュー)

今回は東京家政大学造形表現学科の宮本准教授、村田講師にお話を伺いました。インタビューへの回答の他、おすすめの画材や練習方法、訪問先美術館の候補のアドバイスをいただきました。

2 インタビュー内容の相談

大学への訪問の前に、どのようなことを質問したらいいかを一緒に考えます。

1 年間スケジュールの相談

本人の希望をもとに、年間スケジュールを考えます。興味のあることをもとに、どうしたらより上手に絵を描くことができるのかをまずは大学の先生に相談してみることにしました。



プロジェクト 始動

夢絵師プロジェクト終了後の感想

活動を通して達成できたこと

- ・デジタルで加工を上手に使えるようになり、かわいい絵を描けるように頑張った。
- ・細かい所にも時間をかけて丁寧に描けるようになった。
- ・いろいろな種類の絵を見たので、自分の好みの絵が分かった。

1年間活動して、今思う、将来こんな風になりたい!

- ・趣味としてみんなの心に残る絵や、見てくれた人に訴える絵を描きたいと思った。

1年活動して今思う、将来に向けて取り組みたい事

- ・絵を描くことは大好きなのでずっと描いてたくさんの人にてもらいたい。
- ・悩みを持った子どもを助けたい気持ちがあるので心理学の勉強をしてみたい

感想

- ・私が興味を持ったデジタルや水彩絵の具やペンにすぐに挑戦することが出来たのでとても楽しかったです。
- ・1年を通してすごく楽しく、自分がやりたい事が出来たことが嬉しかったです。
- ・大学の訪問では先生や大学生の方と直接お話を現場を見ることも出来て楽しかったです。

寄付で応援してくれた方へのメッセージ

寄付で応援してくれた方たちのおかげで色々な事に挑戦出来ました。今まではいけなかった場所や展覧会にも多く参加できたので、それがとても楽しい思い出にもなりました。将来のために絵と心のケアについてもっと勉強をしたいです。ありがとうございました。



プロのエンジニアと学ぶ

プログラミング

チャレンジ!

プログラミングチャレンジはボランティア講師による地域の小学生対象のプログラミング講座として行われました。

シリコンバレーでIT企業を経営されてきた坂本氏の声掛けにより、地域に住む日本や世界を代表するIT企業のエンジニアや大学教授、NEC本社及び関連企業からなる「NECプロボノ倶楽部」のボランティアが集まって、毎週子どもたちに、分かりやすく本格的なプログラミング講座が行われました。

エンジニア以外にも学生や子どもが好きという方など地域の様々な方々が参加され、子どもたちは単にプログラミングを学ぶだけでなく、様々な大人との出会いを経験しながら1年間の取り組みを行いました。

基金の財源は、子どもたちの使用するパソコンや備品類等で活用し、参加者は無料で学ぶことができました。

O V E R V I E W

チャレンジ名

プログラミングチャレンジ

対象者

小学4～6年生児童 12名

取組内容

週1回1年間の分かりやすいプログラミング講座

基金の使い道

PC、周辺機器の購入、教材費用ほか

協力機関

地域ボランティアの方 / NECプロボノ倶楽部

年間スケジュール

プログラムは、大きく4つの段階で構成され、
①導入 ②ビジュアル言語 ③ビジュアル言語発展
④Python(マシン言語)
と進められました。

事前打ち合わせ & 教材づくり

プロジェクトのスタートは、子どもたちが参加する半年前からスタート! どのような手順で学びを進めていくかカリキュラム、教材作りから始まりました。

自己紹介スライドの発表

PCの基本操作で学んだパワーポイントを使った自己紹介スライドの発表です。大人の前で発表する事になり、初めての体験に参加する子どもたちの緊張感が伝わってきました。

中間発表

2 皆さん真剣!

導入

参加した子どもたちの中には、タブレットや学校のChromeブックを使ったことはあっても、WindowsPCが初めてという子もいました。講座の開始時には基本的なPCの操作だけでなく、インターネットリテラシーを含めた、安全なPCの使い方についても教えていただきました。

Blockly-Game

PCの基本操作を学んだら、ビジュアル言語を使ってプログラミングの基礎(基本的な考え方)を学びます。

Blockly-Gameでは、迷路や描画、音楽といったコンテンツをこなしながらプログラミングに必要な論理的思考を学びます。各章レベル1~10迄あり、レベル8あたりになると、大人でも頭をひねってしまうほど難易度が上がります。

中間発表

Code.org

第3段階のCode.org(コードドットオルグ)ではBlockly-Gameと同様に様々な難易度のコースが準備されており、順番に学んでいくことで、プログラミング能力を高めていくことができます。

オリジナル作品の発表

Blockly-Gameで学んだことの発表では、それぞれが、描画、音楽など、ビジュアル言語を使ってオリジナルの作品作りを行い、どこを工夫したのか、難しかった箇所など発表をしました。

ちょっと息抜き

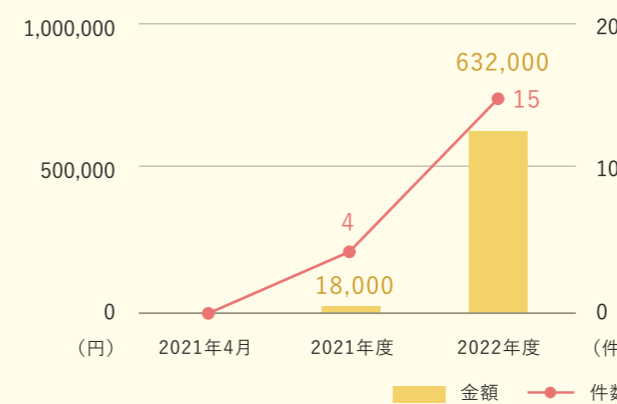
通常のカリキュラムのほかに、ボランティア講師がPython言語を使って作成したピングゲーム大会や、ロボットプログラミングに触れる機会なども用意され、子どもたちも飽きることなく続けることが出来ました。

NEXT PAGE

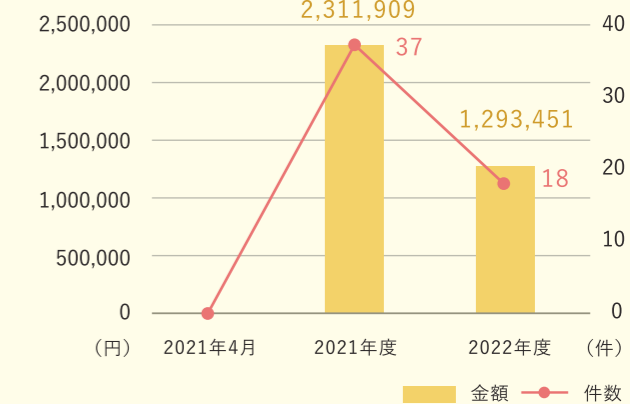
決算報告

寄付金

寄付金額・件数(原資寄付※1)



寄付金額・件数(事業寄付※2)



※1 原資寄付とは基金を継続して運営するための資金寄付です。 ※2 事業寄付とは翌年の基金事業費として活用させていただく資金寄付です。

助成支出

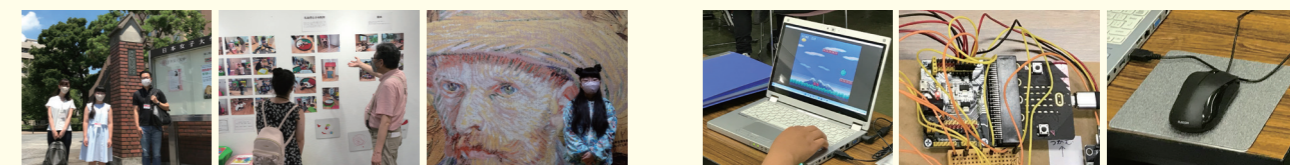
個人チャレンジ



プログラミングチャレンジ



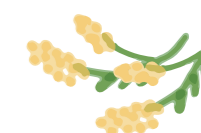
※プログラミングチャレンジのパソコンなどは2021年度予算より支出。※2022年度のプログラム実施に係る支出です。



ご支援のお願い

子ども・若者応援基金は企業の皆様からのご支援もお願いしています。ご支援の方法として、資金のご寄付のほか、子どもたちへのサービスや体験プログラムのご提供、広報・宣伝へのご協力といった直接的なご支援をお受けしています。ご協力をいただいた企業・団体様には当会HPへのバナー掲載と、次年度の基金紹介冊子へのお名前の掲載をさせていただきます。本基金へのご支援は「損金算入」いただくことが出来ます。

【企業・団体様ご支援窓口】
 北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金
 TEL:03-3906-2352 E-mail:kodomo@kitashakyo.or.jp



Python発展教材

いよいよ第4段階、プロのエンジニアも使っているPython言語を学びます。PythonはAIやゲーム、分析など、様々な分野で活用され、今注目のプログラミング言語です。



クリスマスツリー作り

12月はクリスマスツリー作りを行いました。Pythonでプログラミングすることで、LEDライトを自分好みに発光させる事ができます。



Python

Pythonはこれまでの学びをベースに進め、まずは講師が作成したプログラムを真似したり、パラメータ(数値)を変更して、改造することから始めました。



卒業制作

卒業制作は各自オリジナルのゲーム作りを行いました。講師と相談しながらイメージ形にしていき、設計図を書いて実際にプログラムを書いています。



卒業発表会(修了式)

卒業発表会(修了式)

卒業発表会は各自が作成したゲームを発表します。工夫したところ、難しかった所、良かった所など、来場した保護者、参加者に説明をしました。ここまでくると発表も慣れたもので、緊張も見られず、自分の作品を紹介する姿が頼もしく見えました。発表後はそれぞれの作品を遊んでもらう機会を作り、最後に発起人の坂本校長から修了証をいただきました。



参加者様の感想

- ★ 意欲的に取り組んでいるのは講師やボランティアのおかげです。おかげさまでこのプログラムが終わってからも自発的にプログラミングに取り組める習性が付くだろうと信じております。
- ★ 優しいしわかりやすく教えてくれる。一緒に考えてくれるのが嬉しい。褒めてくれて嬉しい、楽しい。いつもありがとうございます。もっともっとやりたいです。
- ★ いろんな事を知っていて、すごいと思いました。今までも沢山教えてもらいました、まだまだ教えてください。
- ★ わかりやすいように教えてくれてありがとうございます。
- ★ たくさんの事を丁寧に分かりやすく教えて頂き、ありがとうございます。今後もよろしくお願いします!

協賛企業・団体一覧

私たちは「子ども・若者応援基金」を応援しています。



地域密着・顧客支援を第一に



たきんは北区の子どもたち・若者たちの将来の夢や希望がかなうように応援しています。

子ども・若者応援基金の支援の輪が広がっていくことを応援しています。

与楽寺

東京都北区田端1-25-1

さまざまな経験・体験が子ども・若者の成長に寄与することを願っています。

東福寺

東京都豊島区大塚1-26-10

子どもたちの未来を応援します。

ライト株式会社

北区中里 2-28-12



挑みつける、変わらぬ意志で。
東京商工会議所 北支部

ものづくりにかけた110年
WEBはこちら
KOSHINO 越野建設株式会社
〒114-0002 東京都北区王子 4-22-9 TEL.03-3913-4511
音楽マンジョン

Rotary
Club of Tokyo Oji

ご協力者様コメント

各プログラムご協力者様からコメントを頂きました。



個人チャレンジ協力者
東京家政大学 村田先生

とても心が温くなりました。教えていて原点に帰ることができました。お子さんと会っていた時、本当に楽しかったです。こういう心の交流が、人を動かすんだと思います。楽しんで絵を描いてもらいたいですね。



個人チャレンジ協力者
日本女子大学 堀江先生

参加されたお子さんは、小学6年生とは思えないくらいしっかりしていました。難しい説明にも耳を傾けてくれて、関心の高さが伝わってきました。こちらも大変勉強になりました。少しでも理解を深めるお役に立てれば幸いです。



プログラミングチャレンジ発起人(社協事業協力者)
(NPO) チャレンジプロ代表 坂本さん

私たちにとって小学生にプログラミングを教えるのは初めての試みでした。1年間をかけてプロも利用するPythonプログラムまで進めることが出来たことは、参加したお子さんたちも、自慢できることになったと思います。